

天然ガス開発の持続可能性を問う
バイオ燃料、水力発電CDM、

天然ガス開発の持続可能性を問う

シンポジウム

アジアに迫る 低炭素エネルギー開発 温暖化と

迫る温暖化による危機。

大幅なCO₂削減という緊急の課題。

「低炭素エネルギー」への期待と
開発による環境影響

持続可能なエネルギーとは？

2/8 (木)

開催日

2007

(木)

11:00~18:00 (開場・10:30)

場所

JICA地球ひろば

3階 講堂

資料代

1,000円

(主催3団体及び協力団体会員・サポーター/500円)



主催

国際環境NGO FoE Japan

財団法人 地球・人間環境フォーラム

NPO法人 バイオマス産業社会ネットワーク(BIN)

*この活動はH18年度環境再生保全機構 地球環境基金、(社)国土緑化推進機構 緑と水の森林基金の助成を受けて開催されます。



プログラム

*内容は一部変更する場合があります。詳しくは<http://www.foejapan.org>をご覧ください。

11:05-11:50	基調講演Ⅰ	ロンゲナ・ギンティン氏 FoE インターナショナル 国際金融機関 キャンペーン・コーディネーター	「アジアにおける温暖化影響と低炭素エネルギー開発の現場から ～持続可能なエネルギー戦略に求められるもの」(仮題)
11:50-12:35	基調講演Ⅱ	柏木 孝夫氏 東京農工大学大学院教授	「分散化エネルギーの開く未来、 アジアの持続可能なエネルギーのモデルとして」(仮題)
12:35-13:35	休憩		
13:35-14:35	セッション①	水力発電 CDM	現場からの報告 — ヒマンシュ・タッカー氏 ダム・川・人々の南アジアネットワーク 解説 — ドナルド・ホルズ氏 FoE オランダ 気候・エネルギーキャンペーン・チームリーダー
14:35-15:35	セッション②	バイオ燃料	インドネシアの現場からの報告 — ロンゲナ・ギンティン氏 FoE インターナショナル 国際金融機関キャンペーン・コーディネーター マレーシアの現場からの報告 — 坪内 俊憲氏 野生生物生息域管理専門家 解説 — 泊 みゆき NPO 法人バイオマス産業社会ネットワーク 理事長
15:35-15:45	休憩 質問票回収		
15:45-16:45	セッション③	天然ガス	現場からの報告 — 村上 正子 国際環境 NGO FoE Japan 開発金融と環境プログラム 解説 — 佐尾 邦久氏 株式会社海洋工学研究所 代表取締役
16:55-17:55	質問への回答と パネルディスカッション	コーディネーター 泊 みゆき パネリスト 藤井 良広氏 上智大学環境大学院地球環境学研究所教授、 ロンゲナ・ギンティン氏 、 柏木 孝夫氏 、 ヒマンシュ・タッカー氏 、 ドナルド・ホルズ氏 、 坪内 俊憲氏 、 佐尾 邦久氏 、 村上 正子	

お問い合わせ

国際環境 NGO FoE Japan

energysympo@foejapan.org

TEL 03-6907-7217 FAX 03-6907-7219

この印刷物は、適切に管理された森林からの原料を含むFSC認証紙を使用しています。
また印刷には、植物油インキを使用し、有害廃液を排出しない水なし印刷方式を採用しています。

会場

JICA地球ひろば

東京都渋谷区広尾4-2-24

TEL 03-3400-7717

交通案内

東京メトロ日比谷線、
広尾駅下車 (A3出口) 徒歩1分
※ 駐車場はありませんので車での
ご来場はできません。



申込み方法

FAX:03-6907-7219、または国際環境 NGO FoE JapanのHP イベント申込みフォーム http://www.foejapan.org/event/event_form.html から、お名前、ご所属、ご住所、TEL/FAX、Eメールアドレス、主催3団体及び協力団体の会員の方は【備考欄】にその団体名をご記入後送付してください。

アジアに迫る温暖化と
低炭素エネルギー開発

FAX 申し込み用紙

送付先

FoE Japan
03-6907-7219

お名前

ご所属

ご住所 〒

TEL

FAX

E-mail

備考欄

一般

主催団体会員/サポーター

協力団体会員